SONY

4-279-123-**04**(1)

クリップオン LCDモニター

夹式监视器

取扱説明書	JP
使用说明书	CS

HDMI
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

Auto-lock Accessory Shoe

CLM-V55

⚠危険 安全のために （33 ～ 38ページも合わせてお読みください。）

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、誤った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わずに、ソニーの相談窓口に修理を依頼する**
- **万一、異常が起きたら**

> - 本機が熱くなり変な音、変なにおい、煙が出たら
> - 内部に水、異物が入ったら
> - 製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

❶本機の電源を切る。

❷電池をはずす。

❸ソニーの相談窓口に修理を依頼する。

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、破裂・発火・発熱・液漏れなどにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・事故などにより死亡や大けがなど人身事故になることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意　火災　感電

行為を禁止する記号



禁止　分解禁止　ぬれ手禁止　水ぬれ禁止

行為を指示する記号



指示

目次

使用上のご注意(性能を保持するために)

バッテリーパックおよびACアダプター、チャージャーについて

バッテリーパックおよびACアダプターやチャージャーは付属しておりません。使用可能なバッテリーパックおよびACアダプター(10、12ページ)をご使用ください。
お持ちでない場合は、別売のバッテリーパックおよびACアダプターをお買い求めください。

液晶画面について

- 液晶画面を太陽にむけたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどはご注意ください。
- 液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上にものを置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い所でご使用になると、横縞が見えたり、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 固定された画像または静止画を長時間表示した場合、残像や焼きつきの原因となることがあります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

液晶画面の輝点・滅点について

本機の液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり(画素欠け)、常時点灯している輝点(赤、青、緑など)や滅点がある場合があります。また、液晶パネルの特性上、長期間ご使用の間にこれらが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。

お手入れのしかた

お手入れをする前に、必ず電池をはずしてください。

モニター画面のお手入れについて

モニターの画面は反射による映り込みを抑えるため、特殊な表面処理を施してあります。誤ったお手入れをした場合、性能を損なうことがありますので、以下のことをお守りください。

- スクリーン表面についた汚れは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布で軽く拭いてください。
- 汚れがひどいときは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布に水を少し含ませて、拭きとってください。
- アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄剤、化学ぞうきんなどはスクリーン表面を傷めますので、絶対に使用しないでください。

外装のお手入れについて

- 乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。
- 布にゴミが付着したまま強く拭いた場合、傷が付くことがあります。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

廃棄するときは

- 一般の廃棄物と一緒にしないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中にモニターを捨てないでください。

本体について

- 長時間使用すると本体上部及び通気孔部／金属部が熱くなる事があります。使用中及び使用後に本体を持つ場合は十分注意してお持ちください。

お使いになる前に必ずお読みください

本取扱説明書とあわせて、お使いのカメラの取扱説明書もご確認ください。

本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません

置いてはいけない場所

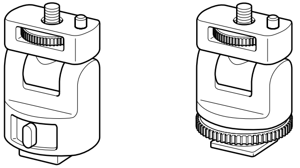
使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。故障の原因になります。

- 異常に高温になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変形したり故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になることがあります。

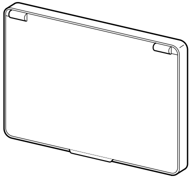
付属品の確認

以下の付属品が揃っているかをお確かめください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

- シューアダプター(オートロックアクセサリーシュー用、アクセサリーシュー用)



- 液晶フード



- HDMIケーブル（約45cm、Type A⇔Type C）
- 収納ポーチ
- バッテリープロテクター
- 印刷物一式

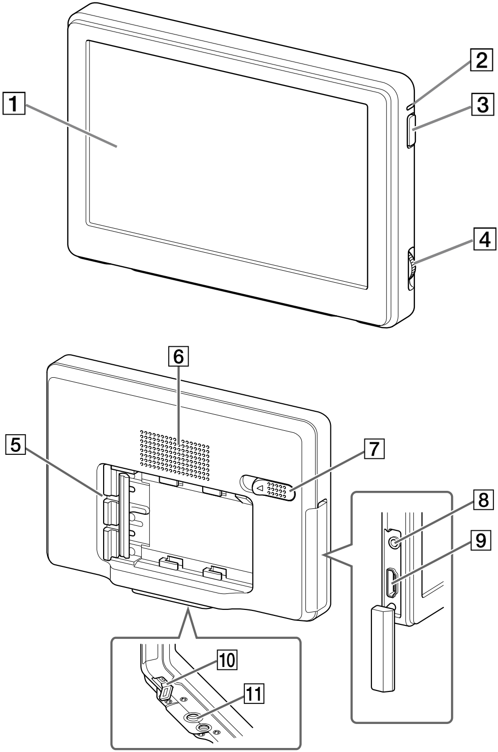
主な特長

本機はライブビュー機能を持ちHDMI搭載のレンズ交換式デジタルカメラおよびレンズ交換式デジタルHDビデオカメラレコーダーでお使い頂けるポータブルLCDモニターです。カメラからのHDMI出力映像を表示できます。

以下の機能により、見やすく確実な撮影をサポートします。

- 広視野角液晶を採用
- ピーキング、ピクセル等倍拡大などの撮影サポート機能を搭載
- 可動式のシューアダプターにより、オートロックアクセサリーシュー搭載カメラでは簡単に着脱が可能

各部の名前



1 **液晶画面**

2 **電源ランプ**

電源オンの間、本機の状態に応じて点灯/点滅します。(11ページ)

3 **電源ボタン** ⏻

長押しして、押すたびに本機の電源オン/オフを切り換えます。

4 **操作ダイヤル**

本機の設定メニューの呼び出し、操作をします。

ダイヤルを押し込む*	メニューの呼び出し/決定
ダイヤルを回す	メニューの選択/設定値の変更

*本機の状態により機能が異なります。

5 **バッテリー端子**

6 **スピーカー**

音声確認用のモノラルスピーカーです。

7 **バッテリーリリースレバー**

8 **ヘッドホン端子**

3.5mmステレオミニプラグ採用。

- ヘッドホンを接続しているときはスピーカーからは音声出力されません。

9 HDMI(Type A)**端子**

10 DC**入力端子**

11 **三脚ネジ穴**

電源を供給する

本機はソニー製リチャージャブルバッテリーパック、またはソニー製ACアダプターで電源を供給できます。

バッテリーを取り付ける

本機には以下のソニー製リチャージャブルバッテリーパック（別売）をご使用になれます。これ以外のバッテリーは正常に動作しないためご使用いただけません。

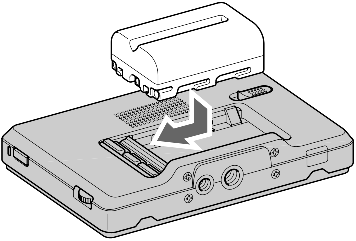
- NP-FM500H
- NP-QM71D
- NP-QM91D

ご注意

- **NP-QM71DおよびNP-QM91Dをご使用の際は、カメラを三脚に取り付けてご使用ください。**

バッテリーを軽く押し込んでそのまま左へスライドさせます。

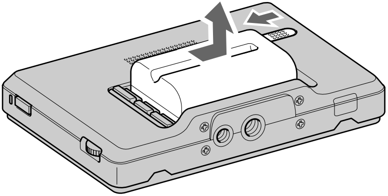
カチッと音がして、バッテリーが本機に固定されます。



バッテリーを取りはずすときは

バッテリーリリースレバーを左にスライドさせながら、バッテリーを右へスライドさせます。

バッテリーが本機からはずれます。



ご注意

- **このときバッテリーが落下しないよう注意してください。**

バッテリーの残量を確認するには

バッテリーの残量は電源ランプで確認できます。ランプが赤点灯し始めたら、早めに充電済みのバッテリーパックと交換してください。

ランプの点灯状態	本機の状態
緑(点灯)	電源オン(バッテリー駆動中)
緑(ゆっくり点滅)	起動時、終了時(バッテリー駆動中)
白(点灯)	電源オン(ACアダプター駆動中)
白(ゆっくり点滅)	起動時、終了時(ACアダプター駆動中)
赤(点灯)	バッテリー残量少
赤(速く点滅)	バッテリー切れ直前
消灯	電源オフ

ご注意

- **故障の原因になりますので、起動時、終了時(ランプ:ゆっくり点滅)はバッテリーおよびACアダプターをはずさないでください。**
- **バッテリー切れの直前には電源ランプが赤色で早く点滅します。その約10秒後に本機の電源が自動でオフになります。**

バッテリー使用時の動作時間

（25℃下で新品を使用／ HDMI接続し連続使用時）

NP-FM500H使用時：約3時間

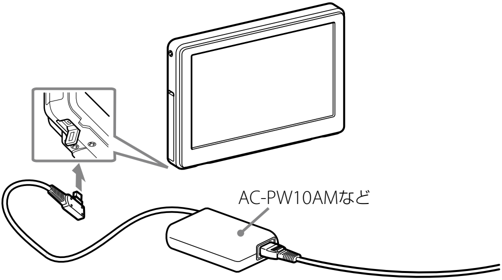
NP-QM71D使用時：約5時間

NP-QM91D使用時：約8時間

* 使用状況や使用環境により動作時間は上記の時間と異なる場合があります。

ACアダプターを接続する

本機は別売のソニー製ACアダプター（AC-PW10AMなど）を使って家庭用コンセントから電源を供給できます。



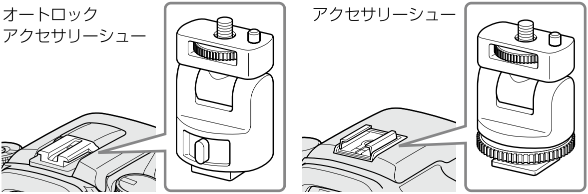
ご注意

- **本機にACアダプターを接続しても、本機に取り付けたバッテリーパックは充電されません。**
- **本機にバッテリーパックを取り付けた状態でACアダプターを接続した場合は、ACアダプターの電源が優先されます。**

カメラへ取り付ける

カメラへ取り付ける

1 カメラのアクセサリーシューの形状に合わせて、付属のシューアダプターを選ぶ。

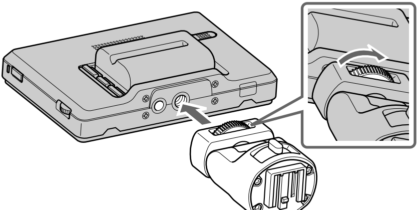


ご注意

- シューアダプターは本機以外には使用しないでください。

2 シューアダプターの三脚ネジを本機底面の三脚ネジ穴に差し込む。

3 シューアダプターのダイヤルを回して固定する。



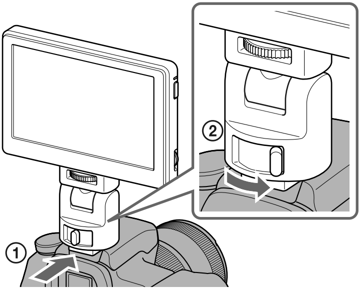
次ページにつづく

4 シューの種類に合わせて、次のようにシューアダプターをカメラのシューに取りつける（クリップオン）。

オートロックアクセサリーシューの場合：

①シューアダプターのフットを矢印方向に止まるまでオートロックアクセサリーシューに取りつける。

②シューアダプターのロックレバーを右端まで倒してカメラと確実に固定する。



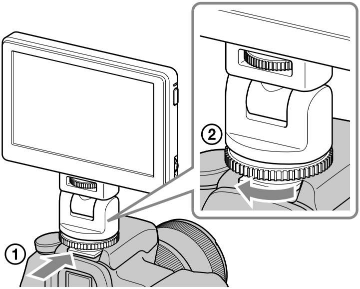
ご注意

- **シューアダプターをカチッと音がするまで奥に差し込んでください。**

アクセサリーシューの場合：

①シューアダプターのフットを矢印方向に止まるまでアクセサリーシューに取りつける。

②シューアダプターのダイヤルを左に止まるまで回してカメラと確実に固定する。



ご注意

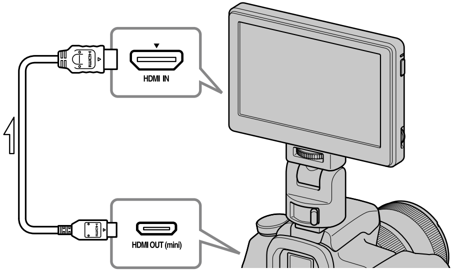
アクセサリーシュー搭載カメラへの取り付けについては、お使いのカメラの取扱説明書もご確認ください。

ご注意

- **ご使用のカメラの内蔵フラッシュがポップアップ式の場合は、以下をご注意ください。**
  - **必ずカメラの内蔵フラッシュを閉じてください。また内蔵フラッシュの自動発光機能があるカメラでは自動発光機能をオフにしてください。**
  - **フラッシュをお使いの際は本機をカメラから取りはずしてご使用ください。**
- **撮影中の落下防止のために、ご使用前にカメラと本機が確実に固定されていることを確認してください。**

次ページにつづく

5 付属のHDMIケーブルで本機とカメラを接続する。



ちょっと一言

- ケーブルの長さが足りない場合は別売のソニー製HDMIケーブル（TypeA—TypeC）をご使用ください。

6 カメラと本機の電源を入れる。

本機では電源ボタンを長押しして電源を入れます。

本機の液晶画面にカメラから出力された映像が表示されます。

ご使用のカメラにHDMI出力設定機能がある場合は、「AUTO」または「16：9」に設定してください。

ご注意

- **本機とカメラをHDMI接続した際、カメラの仕様により以下の状態になる場合があります。**
  - カメラの液晶画面に映像が表示されない。
  - カメラが再生モードに切り換わる。（撮影の際はカメラが撮影モードになっているかご確認ください。）

ちょっと一言

- 以下の状態で一定の時間が経過すると本機のバックライトが消えます。
  - カメラからのHDMI信号が出力されていない。
  - HDMIケーブルがはずれている。

  以下を行うとバックライトは再点灯します。
  - 本機のダイヤルを押し込む。
  - カメラを操作してHDMI信号を出力させる。
  - HDMIケーブルを接続し直してカメラの電源を入れる。

カメラから取りはずすには

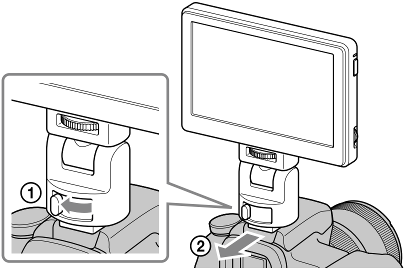
HDMIケーブルを抜いてから、次のように本機を取りはずします。

ご注意

- **取りはずす際は本機やカメラを落下させないようご注意ください。取りはずしの際は三脚に取り付けてから行うことをおすすめします。**

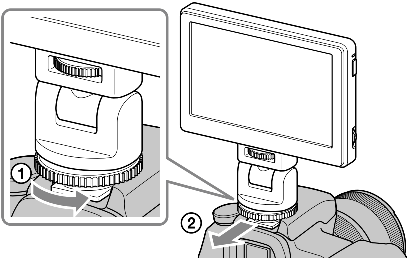
オートロックアクセサリーシューの場合：

①シューアダプターのロックレバーを左端へ倒してロックを解除する。
②ロックレバーを左へ倒したまま、シューアダプターを手前にスライドさせる。



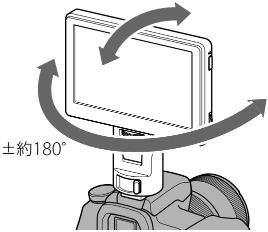
アクセサリーシューの場合：

①シューアダプターのダイヤルを右に回してロックを解除する。
②ロックが解除されているのを確認してから、シューアダプターを手前にスライドさせる。



画面の向きを調節する

本機はシューアダプターのパン／チルト機能で好きな向きに画面を動かせます。



ちょっと一言

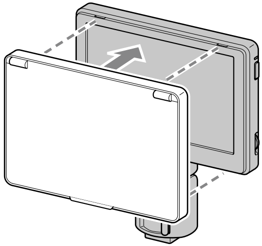
- シューアダプターの可動範囲は前後約90度ずつ、左右約180度ずつです。

ご注意

- **使用するバッテリーパックやカメラによっては内蔵フラッシュと干渉する場合がありますので、無理にパン／チルトさせないでください。**
- HDMIケーブルが伸びきったり可動部に挟まれたりしないよう、引き回しにご注意ください。

液晶フードを取り付ける

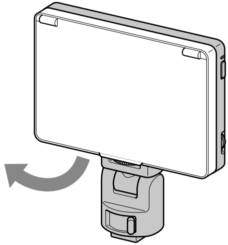
液晶フードの枠内側のツメを本機の外枠にある凹みに合わせて図のように取り付けます。



上側をはめてから、
下側を押し込んで
取り付ける

液晶フードを取りはずすには

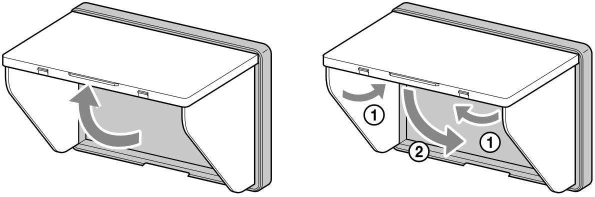
液晶フードの枠下部を手前に引くように取りはずします。



次ページにつづく

液晶フードを開く／閉じるには

図のように開閉させます。

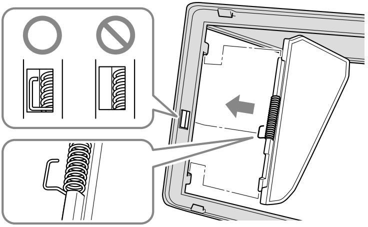


フードがはずれてしまったときは

過剰な力が加わると、破損を防ぐためにフードがはずれることがあります。その場合は以下の手順で取り付けてください。

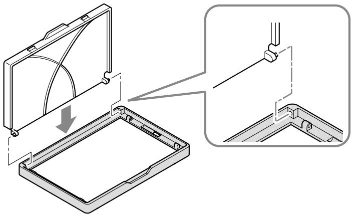
側面フード

バネの先端を枠中央の溝に押し込みながら、枠上下の溝に側面フードの突起をはめこむ。



正面フード

枠上部の内側にある溝へ正面フードの突起をはめこむ。



ご注意

- **バネの先端が溝に入っていないと側面フードは開きません。開かない場合は、バネの先端が溝に入るように取り付け直してください。**

モニターを使う

メニューと操作のしかた

本機で設定できる各機能は、画面右側のメニューにアイコンで表示されます。

ちょっと一言

- 本機のLCDパネルは15:9のため、映像が16:9、4:3、および3:2の場合は上下もしくは左右に黒い帯が表示されます。

16:9



3:2



1 操作ダイヤルを動かす。

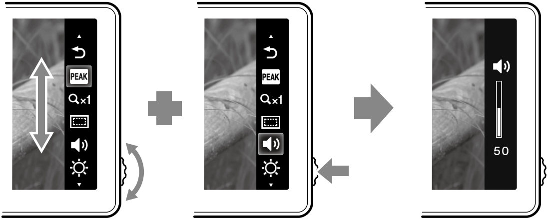
メニューが画面右側に表示されます。



2 **操作ダイヤルを回して使いたい機能のアイコンをカーソルに合わせる。**

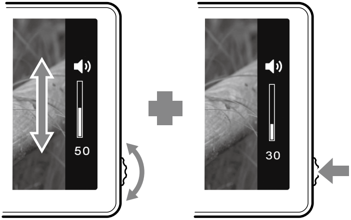
3 **ダイヤルを左に押し込む。**

選んだ機能の設定画面が表示されます。



4 **操作ダイヤルを回して設定内容を選び、ダイヤルを左に押し込む。**

設定値が保存され設定画面が消えます。

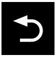


ちょっと一言

- ピーキング機能はアイコンを選んで決定した時点で機能がオンになります。またピーキング機能がオンの間はメニューが表示されません。もう一度ダイヤルを押し込むとピーキングがオフになります。
- メニューや設定画面は次のときに自動で終了します。
  - 約1分間ダイヤル操作をしないとき
  - 設定操作が完了したとき

設定できる機能

本機では以下の設定が行なえます。

アイコン	機能名	設定内容
	**ピーキング**	ピントが合っている部分を色表示する。（26ページ）
	**ピクセル等倍拡大（ピクセル・バイ・ピクセル）**	カメラから出力される解像度で表示する。（800×480以上の解像度では画面の中心部を表示）（26ページ）
	**TV表示範囲（マーカー表示）**	画角の少し内側に目安となるグリッドを表示する。（27ページ）
	**音量**	音量を調節する。 設定値：0（小）～ 100（大）／初期値：30
	**明るさ**	映像を表示するときの明るさを調節する。 設定値：0（暗い）～ 100（明るい）／初期値：50
	**コントラスト**	映像を表示するときのコントラストを調節する。 設定値：0（柔らか）～ 100（くっきり）／初期値：50
	**色相（フェーズ）**	色相（色あい）を調節する。 設定値：0（緑）～ 100（紫）／初期値：50
	**バックライト**	画面のバックライトの明るさを調節する。 設定値：0（暗い）～ 5（明るい）／初期値：5
	**色温度**	色温度を選んで画面のホワイトバランスを調節する。 設定値：9300K、7200K、6500K ／初期値：6500K
	Exit	メニューを終了します。

ご注意

- **ピーキング機能がオンの間はメニューが表示されません。他の機能を設定される場合はピーキングをオンにする前に行ってください。**

ちょっと一言

- 本機の設定はモニターに表示される際のものです。記録される映像自体には影響しません。

設定値を初期化するには

1 **電源をオフにする。**

2 **ダイヤルを押し込んだまま電源ボタンを押す。**

3 **そのまま5秒以上ダイヤルと電源ボタンを押し続ける。**

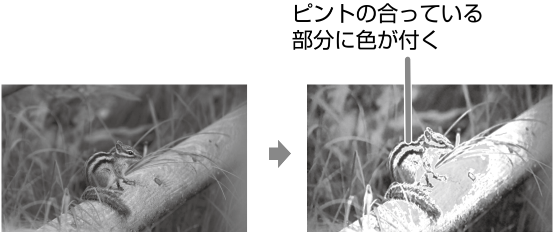
4 **ダイヤルと電源ボタンを離す。**

本機の設定値が初期化されます。

ピーキング

映像全体をモノクロ表示し、その中でピントが合っている箇所を色付きで表示する機能です。

さまざまな撮影条件でも、実際にピントが合っているかを分かりやすく確認できます。



ご注意

- **本機の仕様によりカメラ側のメニュー表示などに色が付く場合がありますが、故障ではありません。**

ちょっと一言

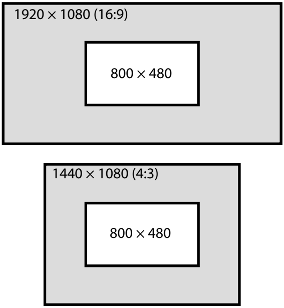
- ピーキング機能がオンのときの画面表示は、ピント確認用です。実際に記録される映像には影響しません。

ピクセル等倍拡大(ピクセル・バイ・ピクセル)

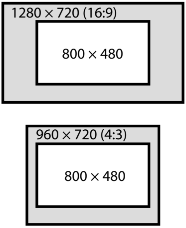
映像の中央(800×480ピクセル)部分を拡大し、本機の液晶画面にピクセル等倍(ピクセル・バイ・ピクセル)で表示する機能です。

このため、カメラから出力される映像の解像度が大きいほど拡大される範囲は狭くなります。

○1080i/1080p



○720p



ご注意

- **本機の液晶画面(800×480ピクセル)より解像度が低い場合は、拡大効果がありません。**

TV表示範囲(マーカー表示)

画角の少し内側に撮影範囲の目安となるグリッドを表示します。
グリッドは画角の80%位置、90%位置の2種類があり、TVの再生環境に合わせて設定できます。
(設定値:80%(16:9)、90%(16:9)、80%(4:3)、90%(4:3))

16:9



4:3



(外側が90%、内側が80%のマーカー)

ちょっと一言

- マーカー表示自体は記録されません。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。
それでも正常に作動しないときは、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

症状	原因／処置
バッテリーがはずれない	• バッテリーのロックが解除されていない。 → バッテリーリリースレバーを左にスライドさせながら取りはずしてください。（11ページ）
本機の電源が入らない	• バッテリーが消耗している → バッテリーパックを交換してください。（10ページ） • ACアダプター（別売）がはずれている → 正しく接続し直してください。（12ページ）
カメラに取り付けられない	• シューアダプターの種類が異なっている → カメラのシュー形状を確認し、それに合ったシューアダプターを選んでください。（13ページ）
本機の画面に映像が表示されない	• カメラが省電力状態（パワーセーブ）になっている。 → シャッターボタンを半押しするなどの操作をすれば、パワーセーブは解除されます。 • HDMIケーブルがはずれている → 正しく接続し直してください。（16ページ） • ライブビュー非対応のカメラでは撮影中の映像が本機に表示されません。詳しくはカメラの取扱説明書をご覧ください。

症状	原因／処置
カメラの画面に映像が表示されない	• お使いのカメラによっては、本機とHDMI接続した際、映像は本機の画面でのみ表示されます。詳しくはカメラの取扱説明書をご覧ください。
音声が聴こえない	• ヘッドホンが接続されている。 → ヘッドホンが接続されているときは、本機のスピーカーからは音声を出力しません。 • 本機の音量設定が0になっていないかご確認ください。（24ページ） • カメラの設定で音声がOFFになっていないかご確認ください。 • お使いのカメラによっては音声が出ない場合があります。 ※ 詳しくはカメラの取扱説明書をご確認ください。
撮影できない	• お使いのカメラによっては、本機と接続するとカメラが再生モードに切り換わります。撮影の際はカメラを撮影モードに切り換えてお使いください。
画面が見づらい	• 日光を防ぐ液晶フードをお使いください。（19ページ） • 画面が暗い場合は、本機のメニュー⇒（バックライト）で画面の明るさを調節してください。（24ページ）
画面に黒い帯が出る	• 本機のLCDパネルは15：9のため、映像によっては黒い帯が表示される場合があります。（22ページ）

主な仕様

画像系

LCD パネル	TFT ノーマリーブラック
画面サイズ	5 型
視野角	約90° ／約90°
有効表示画面（幅×高さ）	約108 mm × 64.8 mm
解像度	800×480画素
アスペクト比	15：9

入出力系

入力

HDMI 入力	HDMI（Type A）（1）
DC IN 端子	DC 7.6 V

出力

内蔵スピーカー出力	約0.5 W モノラル出力
ヘッドホン出力端子	φ3.5 ステレオミニジャック（1）

その他

電源	DC 7.2 V ソニー Mシリーズ バッテリー DC 7.6 V AC-PW10AM
消費電力	約5 W
最大外形寸法 （幅／高さ／奥行き）	約 129 mm × 88.5 mm × 20 mm （突起部含まず）
質量	約250 g（本体のみ）
動作温度	約0℃～ 40℃
保存温度	約-20℃～ +60℃
付属品	シューアダプター（2）、HDMIケーブル（Type A⇔Type C）（1）、液晶フード（1）、収納ポーチ（1）、バッテリープロテクター（1）、印刷物一式

対応信号フォーマット

本機は下記信号方式に対応しています。

システム	総走査線数	有効走査線	フレームレート	走査方式	アスペクト比
575/50I (PAL)	625	575	25	2:1 インターレース	16:9/4:3
480/60I (NTSC)	525	483	30	2:1 インターレース	16:9/4:3
576/50P	625	576	50	プログレッシブ	16:9/4:3
480/60P	525	483	60	プログレッシブ	16:9/4:3
640x480/60P	525	480	60	プログレッシブ	4:3
1080/50I	1125	1080	25	2:1 インターレース	16:9
1080/60I	1125	1080	30	2:1 インターレース	16:9
720/50P	750	720	50	プログレッシブ	16:9
720/60P	750	720	60	プログレッシブ	16:9
1080/50P	1125	1080	50	プログレッシブ	16:9
1080/60P	1125	1080	60	プログレッシブ	16:9

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書は国内に限られています

本製品は、国内仕様です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されておりますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子の悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口にご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 品名：CLM-V55
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。当社では本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低7年間保有しています。

（2ページも合わせてお読みください。）

⚠警告 火災 感電 下記の注意を守らないと、**火災や感電**により**死亡**や**大けが**につながることがあります。

指定の電源電圧で使う

指示

この取扱説明書に記されている電源電圧でお使いください。DC（直流）電源で動作できるモニターは、この取扱説明書に記されているバッテリーでお使いください。指定外の電源電圧での使用は、火災や感電の原因となります。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない

禁止

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となります。取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となります。

通気孔をふさがない

禁止

通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から10cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

内部を開けない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。

次ページにつづく

⚠注意 下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。

内部に水や異物を入れない

禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池や接続コードを抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

接続の際は電源を切る

指示

接続コードを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。

指定された接続ケーブルを使う

指示

この取扱説明書に記されている接続ケーブルを使わないと、火災や故障の原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

指示

接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
十分注意して接続・配置してください。

移動の際は電池や接続コードを抜く

指示

コード類を接続したまま本機を移動させると、コードに傷がついて火災や感電の原因となることがあります。

バッテリーを持って、モニターを移動しない

禁止

運搬するときはモニター本体底面を持ってください。
バッテリーを持って運搬すると、本体が落下してけがの原因となることがあります。

不安定な場所に設置しない

禁止

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてケガの原因となることがあります。
また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

直射日光の当たる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

禁止

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

水のある場所に設置しない

水ぬれ禁止

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となることがあります。雨天や降雪中、海岸や水辺での使用は特にご注意ください。

密閉環境に設置する際は注意する

注意

本機を棚などに収納した際、上下および周辺の機器によりモニター周辺の通風が妨げられ動作温度が上がり、故障や発熱の原因となる可能性があります。

本機の動作条件温度0 ℃から40 ℃を保つように上下および周辺機器との隙間を充分に取り、通気孔の確保等の配慮をしてください。

アクセサリーの取り付けや、本機の分離・合体を確実に行う

指示

アクセサリーの取り付けかたや、本機の分離・合体の方法を誤ると、本機やアクセサリーが落下して、けがの原因となることがあります。

取付説明書に記載されている方法に従って、確実に行ってください。

モニターの重量にあった三脚を使用する

指示

モニターの重量に耐えきれない三脚または三脚以外に取り付けて使用すると、本機が落下し、けがの原因となることがあります。

三脚・雲台を確実に固定する

指示

三脚・雲台が確実に固定されていないとモニターが落下し、けがの原因となることがあります。

次ページにつづく

お手入れの際は、電源を切って電池を抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

指示

子どもの手の届かない場所に設置・保管する

はずれた部品を飲み込んだり、落としてけがをしたりするなど、事故の原因となることがあります。

指示

ぬれた手で電池やACアダプターをさわらない

ぬれた手でACアダプターや電池を抜き差しすると感電の原因となることがあります。

禁止

電源コードは人が歩く場所に配線しない

電源コードが、人の歩く場所にはみ出ていると、つまずいたり、脚をひっかけて落下したりして、けがの原因となることがあります。

禁止

⚠危険　電池についての安全上のご注意とお願い

電池の使い方を誤ると、液漏れ・発熱・破裂・発火・誤飲による大けがや失明の原因となるので、次のことを必ず守ってください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
  ① 機器の電源スイッチを切る。
  ② ソニーの相談窓口にご連絡する。
- 電池の液が目に入ったら
  すぐきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受ける。
- 電池の液が皮膚や衣服に付いたら
  すぐにきれいな水で洗い流す。
- バッテリー収納部内で液が漏れたら
  よくふきとってから、新しい電池を入れる。

ここでは、本機で使用可能なソニー製リチウムイオン電池についての注意事項を記載しています。

⚠危険　禁止　指示

- 充電には、専用のバッテリーチャージャーを使用する。
- 火の中に投げ入れたり、加熱、半田付け、分解、改造をしない。
- 直射日光の当たるところ、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温の場所で、使用・放置・充電をしない。

⚠警告　禁止

- ハンマーでたたくなどの強い衝撃を与えたり、踏みつけたりしない。
- 点部や⊕極と⊖極をショートさせたり、金属製のものと一緒に携帯・保管をしない。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめる。
- 電池使用中や充電、保管時に異臭がしたり、発熱・液漏れ・変色・変形などがあったときは、すぐに使用や充電をやめる。
- 水や海水につけたり、濡らしたりしない。
- 乳幼児の手の届かないところにおく。
- 電子レンジや高圧容器に入れない。

⚠注意　禁止　指示

- 充電のしかたについてはバッテリーチャージャーの取扱説明書をよく読む。

次ページにつづく

お願い

Li-ion

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については

一般社団法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
を参照してください。

その他の安全上のご注意

⚠警告

イヤホンやヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

機器を水滴のかかる場所に置かないでください。また水の入った物、花瓶などを機器の上に置かないでください。

飛行機でのご使用について

飛行機の離着陸時には、機内の案内に従ってください。

商標について

- α はソニー株式会社の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

よくあるお問い合わせ、解決方法などは、ホームページをご活用ください。

http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル ・・・・・・・・・・・・・・0120-333-020 携帯電話・PHS・一部のIP電話 ・・・・・・・・・・・・・・0466-31-2511 受付時間 月～金：9:00～18:00 土･日･祝日：9:00～17:00	フリーダイヤル ・・・・・・・・・・・・・・0120-222-330 携帯電話・PHS・一部のIP電話 ・・・・・・・・・・・・・・0466-31-2531 ※取扱説明書・リモコン等の購入相談は こちらへお問い合わせください。 受付時間 月～金：9:00～20:00 土･日･祝日：9:00～17:00

FAX（共通） 0120-333-389

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に

「402」+「#」 を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

中文（简）

在操作此机器前，请仔细阅读本说明书，并妥善保存以备将来之用。

警告

为减少发生火灾或触电的危险，请勿让本装置淋雨或受潮。

为减少火灾或触电的危险，请勿在本装置上放置如花瓶等盛有液体的物体。

小心

请只使用指定类型的电池进行更换。否则，可能造成着火或人员受伤。

不要让电池暴露在阳光、火焰或类似的高温环境中。

太大的耳机声压会损害听力。

关于主机外壳金属部分感觉到微弱电流:
在将电源适配器与主机连接后，根据接触部位和个人的不同，您有时在接触金属外壳或接口时可能会感觉到微弱电流。
产生这种现象的原因是因为电源适配器中有抑制电磁干扰的元件，该元件在初、次级之间构成了必要的回路。
您可以放心的是此微弱电流被控制在国家安全标准所规定的限值范围之内，且本产品在生产出厂已通过严格的质量检查，因此请您放心使用。

如您有疑问，请与附近的索尼维修站联系。

本产品已经过测定并确定符合EMC 指示中所提出的使用不超过3米的连接电缆的限制。

目录

使用须知

关于电池、电源适配器及充电器

本装置未附带电池、电源适配器及充电器。
请使用兼容电池或电源适配器（第 10、12 页）。
如果您没有电池或电源适配器，请另行购买。

操作 LCD 屏幕

- 请不要让 LCD 屏幕直接面对阳光，这样可能会损伤 LCD 屏幕。在窗边放置本装置时一定要非常小心。
- 请不要扳拉 LCD 显示屏或将显示屏擦伤。请不要在 LCD 显示屏上放置任何重物，这样可能会导致屏幕失去均匀性。
- 如果在寒冷的环境下使用本装置，屏幕上可能会出现水平线或残留影像。这不属于故障。当显示器变暖后，屏幕会恢复到正常状况。
- 如果长时间显示一个固定的图像（如一幅分割图像或时间码，或是静止图像），屏幕上可能会残留影像，并层叠成重影。
- 屏幕和机壳在操作过程中会逐渐变热。这不属于故障。
- 本装置所用的 LCD 屏幕是采用高精密技术生产的。因此只有很少一部分像素可能会表现为“亮点”，或者始终是暗点（黑色）、变亮（红色、绿色或蓝色），或呈闪烁状态。此外，经过长时间使用后，由于液晶显示屏本身的物理特性，有时也会自然形成这种“亮点”。这些问题并非故障。

清洁

清洁之前

请务必先将电池取出。

清洁显示屏

此显示屏表面经过特殊处理，可以减少反射光。
维护不当可能会降低显示器的性能，因此需要注意以下几点：

- 请使用软布（如清洁布或玻璃清洁布）轻轻擦拭屏幕。
- 使用浸过水的潮湿软布（如清洁布或玻璃清洁布）可以擦除顽固污渍。
- 切勿使用诸如酒精、苯或稀释剂等溶剂，或者酸性、碱性清洁剂或擦洗剂以及化学清洁布，因为它们会损坏屏幕表面。

清洁机壳

- 请使用柔软的干布轻轻擦拭机壳。使用浸过中性清洁剂的软布可以擦掉顽固污渍，然后再用柔软的干布擦拭干净。
- 使用酒精、苯、稀释剂或杀虫剂可能会破坏机壳的表面光泽，或者擦掉机壳上的指示。请勿使用这些化学品。
- 如果用脏布擦拭机壳，可能会刮伤机壳表面。
- 如果机壳长时间与橡胶或乙烯树脂产品接触，机壳的表面涂层将会被破坏或脱落。

弃置

- 请勿将本装置与普通垃圾一起弃置。切勿将显示器扔到进行填埋处理的垃圾中。

关于本装置

- 经过长时间使用后，本装置的顶部、通风孔及金属部件可能会变热。如需在使用时或使用后握持本装置，应格外小心。

在飞机上使用

在起飞和着陆过程中，请遵守机上有关本装置的规定。

使用之前

请仔细阅读本使用说明书及相机的使用说明书。

本装置并未采用防尘、防溅水或防水设计。

请勿将本装置放置于下列地方

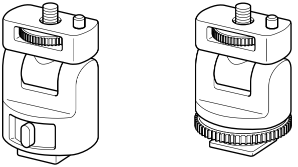
无论本装置处于使用状态还是存放状态，均请勿将其放置于下列任何地方。否则，可能导致故障。

- 将本装置放置于仪表盘等暴露于直射阳光下的地方或靠近加热器的地方时，可能导致本装置变形或出现故障。
- 振动过大的地方
- 电磁强度过大的地方
- 多沙的地方
  在海滨及其他多沙区域或者发生尘雾的地方，应避免让本装置受到沙尘的侵袭。否则，可能导致故障。

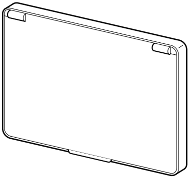
检查附件

检查是否提供了下列附件。如有缺失，请与 Sony 经销商联系。

- 热靴转换器（用于自锁附件插座及配件热靴）



- 遮光罩



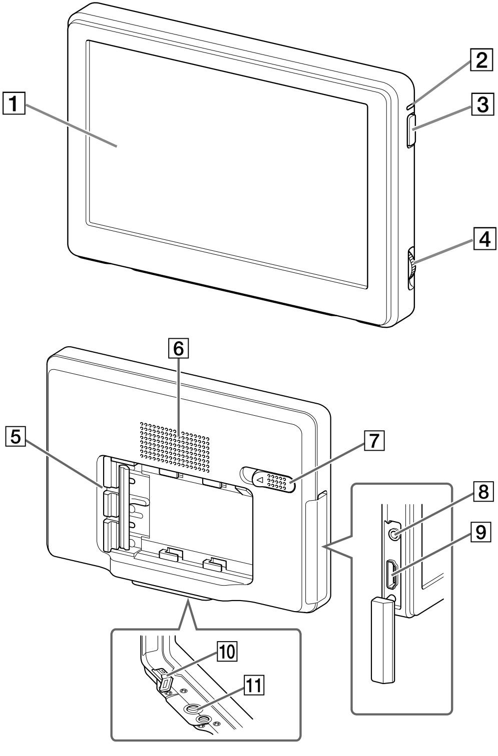
- HDMI 电缆（约 45 cm，Type A⟷Type C）
- 软携带包
- 成套印刷文件

特性

本装置是一款便携式 LCD 显示屏，可用于具有 HDMI 端子和实时取景模式的可更换镜头数码相机或可更换镜头数码 HD 摄录一体机。它可以显示来自相机的 HDMI 视频输出。下列功能可帮助您更清楚地看到影像并拍摄品质更佳的照片。

- 宽视角 LCD 屏幕
- 具有峰值和逐像素变焦等功能
- 使用带有自锁附件插座的相机时，可移动的热靴转换器便于拆卸。

部件识别



1 LCD 屏幕

2 **电源指示灯**
电源开启时，取决于本装置的状态，此指示灯将亮起或闪烁（第 11 页）。

3 **电源按钮 ⏻**
按住此按钮可开关本装置的电源。

4 **操作转盘**
显示和操作菜单。

向左按压转盘*	显示菜单/执行选择。
转动转盘	选择菜单项目/更改设置值。

* 具体功能因本装置的状态而异。

5 **电池端子**

6 **扬声器**
此为单声道扬声器，用于检查声音。

7 **电池释放杆**

8 **耳机插孔**
可用 3.5mm 立体声微型插头连接耳机，用于收听声音。
- 连接耳机后，扬声器中将不会发出任何声音。

9 HDMI (Type A) 插孔

10 DC IN 插孔

11 三脚架插孔

供电

本装置可由 Sony 可重复充电电池或 Sony 电源适配器供电。

安装电池

本装置可使用以下 Sony 可重复充电电池（未附带）。请勿使用其他电池，否则本装置将无法正常工作。

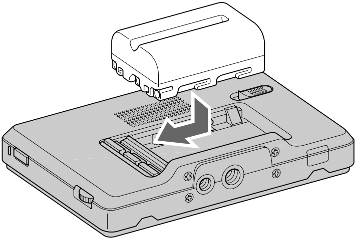
- NP-FM500H
- NP-QM71D
- NP-QM91D

注

- **使用 NP-QM71D 或 NP-QM91D 时，请先将相机安装到三脚架上。**

沿所示的方向将电池轻轻向内按压，然后向左滑动（不要松开）。

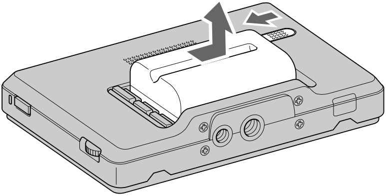
电池固定就位时会发出咔哒声。



取出电池

将电池释放杆向左滑动的同时，向右滑动电池。

电池从本装置中退出。



注

- **取出时，小心不要将电池掉到地上。**

检查电池剩余电量

利用电源指示灯可以检查剩余电池电量。当该指示灯变红时，请立即更换一块完全充电的电池。

电源指示灯的亮起状态	本装置的状态
绿色（亮起）	电源开启（由电池供电）。
绿色（缓慢闪烁）	开启或关闭（由电池供电）。
白色（亮起）	电源开启（由电源适配器供电）。
白色（缓慢闪烁）	开启或关闭（由电源适配器供电）。
红色（亮起）	电池电量不足。
红色（快速闪烁）	电池电量已用尽。
熄灭	电源关闭

注

- **在电池电量即将用尽之前，电源指示灯会变为红色并快速闪烁。大约 10 秒钟后，本装置的电源会自动关闭。**
- **开启或关闭本装置电源（电源指示灯缓慢闪烁）时，切勿断开/移除电池或电源适配器。否则可导致故障。**

电池寿命

（在 25 ℃ 的环境中安装崭新电池并通过 HDMI 连接至相机的情况下，连续使用本装置）

NP-FM500H： 约 3 小时

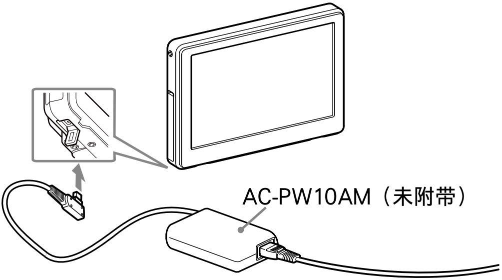
NP-QM71D： 约 5 小时

NP-QM91D： 约 8 小时

* 取决于工作条件或环境状况，实际电池寿命可能会与上述值有所不同。

连接至电源适配器

本装置可利用 Sony 电源适配器（如 AC-PW10AM，未附带）通过家用电源进行供电。



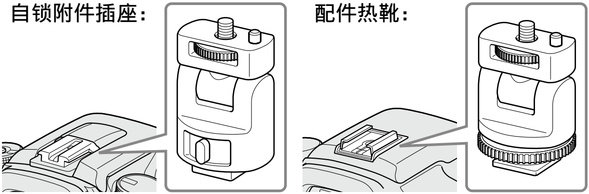
注

- **即使在连接电源适配器的情况下，也不会对本装置上安装的电池进行充电。**
- **如果在安装电池的同时还将本装置连接到电源适配器上，则优先使用电源适配器。**

安装至相机

安装至相机

1 根据相机上配件热靴的形状选择一个附带的热靴转换器。

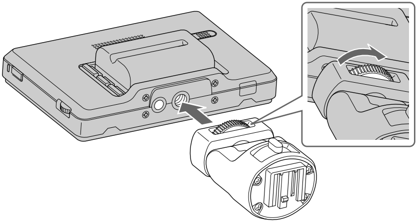


注

- 热靴转换器只能安装在本装置上。

2 将热靴转换器的三脚架螺丝插入本装置底部的三脚架插孔中。

3 将热靴转换器转盘转至锁定位置。

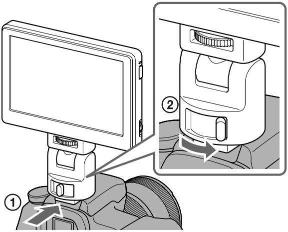


续

4 如图所示，将正确类型的热靴转换器装入（卡入）相机热靴。

如果使用自锁附件插座：

①沿图中所示的方向将热靴转换器的底座完全插入自锁附件插座中。
②向右按下热靴转换器的锁定杆，从而将其牢牢固定到相机上。

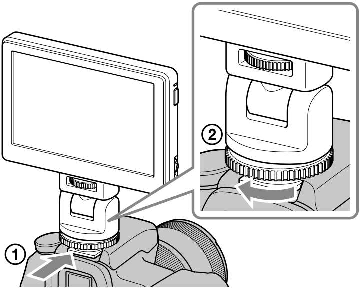


注

- **请将热靴转换器完全插到底，直至其咔哒一声就位。**

如果使用配件热靴：

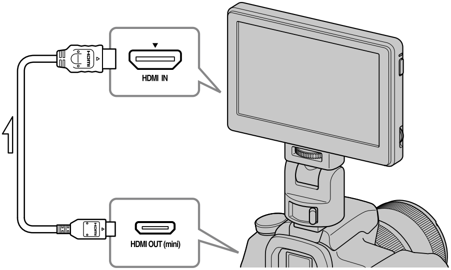
①沿图中所示的方向将热靴转换器的底座完全插入配件热靴中。
②向左将热靴转换器的转盘转到底，从而将其牢牢固定到相机上。



注
- **安装至带有配件热靴的相机时，应同时阅读相机的使用说明书。**

注
- **如果使用配备有弹出式内置闪光灯的相机，应注意以下几点：**
  – 务必关闭相机的内置闪光灯。如果相机有内置自动闪光功能，请将该功能关闭。
  – 使用闪光灯之前，请将本装置从相机上卸下。
- **使用前务必将本装置牢牢固定到相机上，以防本装置在拍摄过程中摔落。**

5 利用附带的 HDMI 电缆将本装置连接到相机上。



提示
- 如果电缆不够长，可使用 Sony HDMI 电缆 Type A-TypeC（未附带）。

6 打开相机及本装置的电源。

按住电源按钮可打开本装置的电源。
相机的取景器影像将显示在本装置的 LCD 屏幕上。如果相机具有 HDMI 输出设置功能，请将其设为 AUTO（自动）或 16:9。

续

注

通过 HDMI 电缆将本装置连接至相机时，取决于相机，有时会出现下列情况。

– 相机的 LCD 屏幕上未显示任何影像。
– 相机切换至播放模式（拍摄照片前，确保相机处于拍摄模式下）。

提示

- 在下列情况下，经过一定时间之后，本装置的背光将熄灭。
  – 相机没有输出 HDMI 信号
  – HDMI 电缆被断开
  执行下列操作将重新开启背光。
  – 按压本装置的操作转盘。
  – 操作相机并输出 HDMI 信号。
  – 重新连接 HDMI 电缆并打开相机电源。

从相机上卸下

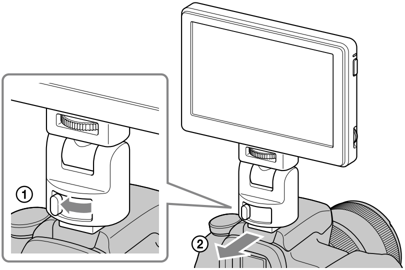
断开 HDMI 电缆并按如下所示将本装置卸下。

注

- **拆卸时，小心不要将本装置或相机摔到地上。建议您在拆卸本装置前先将相机安装到三脚架上。**

使用自锁附件插座时：

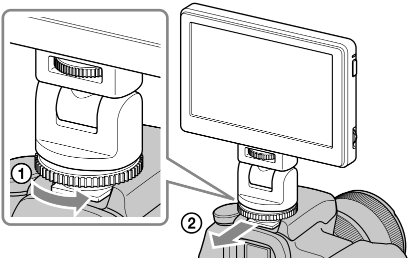
①向左按下热靴转换器的锁定杆，从而解除锁定。
②向左按住锁定杆的同时，向内侧方向滑动热靴转换器。



如果使用配件热靴：

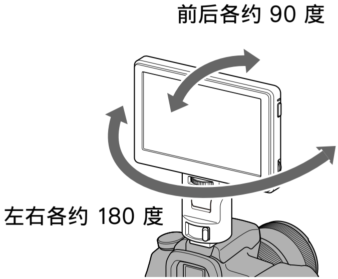
①向右旋转热靴转换器的转盘，从而解除锁定。

②确保锁定已解除，然后向内侧方向滑动热靴转换器。



调整屏幕方向

热靴转换器的摇摄和倾斜功能允许沿任意方向移动本装置的屏幕。



提示

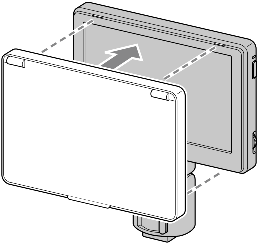
- 热靴转换器的活动范围约为前后各 90 度，左右各 180 度。

注

- 取决于电池和相机，本装置可能会干扰内置闪光灯。摇摄和倾斜时请勿施加过大的力量。
- 牵引 HDMI 电缆时要小心，不要令其绷紧，也不要绊到任何移动部件上。

安装遮光罩

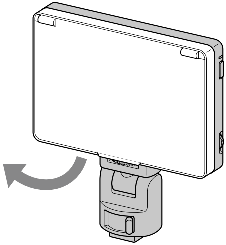
如图所示，让遮光罩边框上的夹子与本装置外边框上的孔对齐，然后安装就位。



先将上罩板固定好，然后压入下罩板。

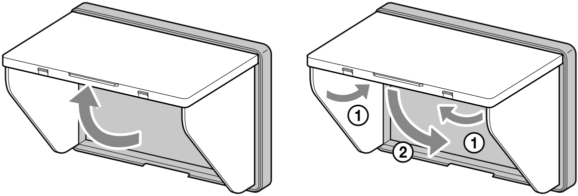
卸下遮光罩

将遮光罩边框的底部向内侧拉，从而将其卸下。



打开/关闭遮光罩

请按图中所示打开和关闭遮光罩。

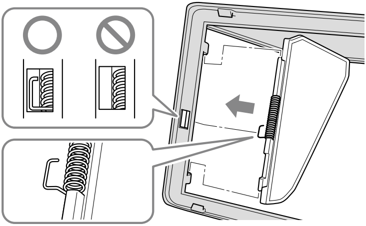


如果罩板从边框上脱落下来

当受到外力作用时，上罩板或侧罩板会从边框上脱落下来，以防发生破裂。在这种情况下，请按如下所述重新安装罩板。

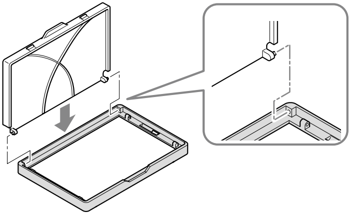
侧罩板

将弹簧的突出端压入边框侧面的中间凹槽中，然后将侧罩板的突出部分固定到边框侧面的上下凹槽内。



上罩板

将上罩板的突出部分固定到边框上部的凹槽内。



注

- **只要当弹簧的突出端正确卡入凹槽时，侧罩板才会打开。如果侧罩板未打开，请重新安装弹簧，使其突出端卡入凹槽内。**

使用显示器

菜单和操作

可通过本装置进行设置的功能在屏幕右侧的菜单中显示为若干图标。

提示

- 本装置上 LCD 屏幕的纵横比为 15:9。因此，对于纵横比为 16:9、4:3 或 3:2 的影像而言，其上部、下部及各个边上都可能会出现黑色条纹。

16:9



3:2



1 移动操作转盘。

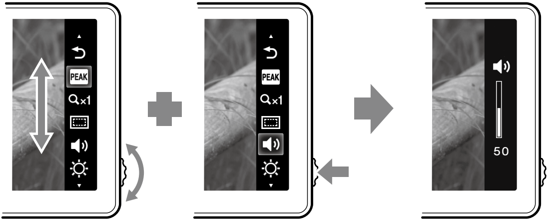
菜单显示在屏幕右侧。



2 转动操作转盘，让光标与所要使用的功能图标对齐。

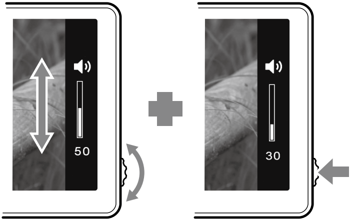
3 向左按压转盘进行确认。

此时显示所选功能的设置窗口。



4 转动操作转盘以选择详细设置，然后向左按压转盘进行确认。

此时将保存设置，而设置窗口随即消失。



提示

- 通过选择峰值图标并予以确认，即可打开峰值功能。打开峰值功能后，将不显示菜单。要想关闭该功能，请向左按压操作转盘。
- 在下列情况下，菜单及设置窗口将自动关闭。
  – 大约一分钟内未触摸操作转盘。
  – 设置过程结束。

可用功能

您可以通过本装置设置以下功能。

图标	功能名称	详细设置
	**峰值**	用一定颜色显示影像的聚焦部分（第 26 页）。
	**像素放大倍率（逐像素变焦）**	显示相机输出的影像分辨率（如果影像分辨率为“800 × 480”或以上，则放大影像的中心部分）（第 26 页）。
	**电视显示区域（标志器显示）**	在视角内显示网格，用于指示 LCD 屏幕上显示的区域（第 27 页）。
	**音量**	调整音量。 设置： 0（低）至 100（高） 默认值：30
	**亮度**	调整所显示影像的亮度。 设置： 0（暗）至 100（亮） 默认值：50
	**对比度**	调整所显示影像的对比度。 设置： 0（柔和）至 100（尖锐） 默认值：50
	**色调（分级）**	调整所显示影像的色调。 设置： 0（绿色）至 100（紫罗兰色） 默认值：50
	**背光**	调整屏幕背光的亮度。 设置： 0（暗）至 5（亮） 默认值：5
	**色温**	选择色温并调整屏幕的白平衡。 设置： 9300K、7200K、6500K 默认值：6500K
	**退出**	关闭菜单。

注

- **打开峰值功能后，将不显示菜单。如需设置其他功能，请在打开峰值功能之前进行设置。**

提示

- 本装置的设置功能仅影响 LCD 屏幕上显示的影像。它们不会影响实际拍摄的影像。

恢复默认设置

1 **关闭本装置电源。**

2 **在按住操作转盘的同时打开本装置电源。**

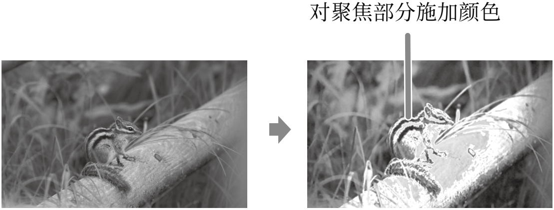
3 **按住操作转盘和电源按钮达 5 秒钟以上。**

4 **松开操作转盘和电源按钮。**

此时将恢复本装置的默认设置。

峰值

该功能以黑白方式显示整个影像，以一定颜色显示聚焦部分。无论拍摄状况如何，这样都更便于检查哪些部分真正聚焦。



注

- **取决于本装置的规格，有时相机的菜单显示上也会施加颜色。这不属于故障。**

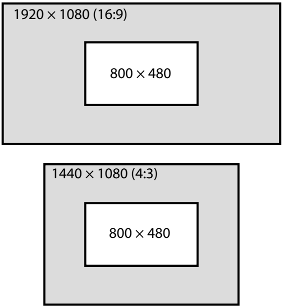
提示

- 当峰值功能设为开时，LCD 屏幕上显示的影像仅用于检查聚焦。峰值功能不会影响实际拍摄的影像。

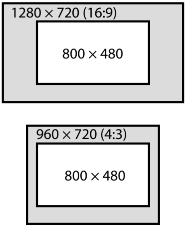
像素放大倍率（逐像素变焦）

该功能可通过在本装置的整个 LCD 上逐像素显示影像来放大影像的中心部分（800 × 480 像素）。因此，相机的影像分辨率越高，放大的区域就越小。

○1080i/1080p



○720p



注

- **如果影像分辨率小于 LCD 屏幕的分辨率（800 × 480 像素），则不会有变焦效果。**

电视显示区域（标志器显示）

该功能在视角内显示网格，用于粗略指示拍摄区域。网格有两种，分别占视角的 80% 和 90%。

您可以选择适合自己电视播放状况的网格。

（设置：80% (16:9)、90% (16:9)、80% (4:3)、90% (4:3)）

16:9



4:3



（外标志器为 90%，内标志器为 80%）

提示

- 本装置 LCD 屏幕上的网格标志器不会被记录到影像上。

故障排除

送修前，应进行必要的检查。如果本装置仍无法正常工作，请与 Sony 经销商联系。

故障	原因/措施
无法取出电池	• 电池未解除锁定。 → 向左滑动电池释放杆，然后取出电池（第 11 页）。
本装置没有电	• 电池电量已用尽。 → 更换电池（第 10 页）。 • 电源适配器（未附带）被断开。请重新进行正确连接（第 12 页）。
无法将本装置安装至相机	• 所用热靴转换器的类型不正确。 → 检查相机的热靴类型并选择正确的热靴转换器（第 13 页）。
本装置的屏幕上未显示任何影像	• 相机处于节电模式下。 → 执行某些相机操作，如半按快门按钮，从而退出节电模式。 • HDMI 电缆被断开。 → 重新进行正确连接（第 15 页）。 • 使用没有实时取景功能的相机时，将无法在本装置上显示拍摄的影像。有关详细信息，请参阅相机的使用说明书。
相机的屏幕上未显示任何影像	• 取决于相机，当通过 HDMI 电缆与本装置相连时，影像可能只显示在本装置的屏幕上。有关详细信息，请参阅相机的使用说明书。
听不到声音	• 连接了耳机。 → 连接耳机时，本装置的扬声器将不输出任何声音。 • 确保本装置的音量未设为 0（第 24 页）。 • 确保相机的声音设置未设为 OFF（关）。 • 有些相机不输出声音。 • 有关详细信息，请参阅相机的使用说明书。

故障	**原因/措施**
无法拍摄	• 取决于相机，当与本装置相连时，有时它会切换到播放模式。请在拍摄照片前将相机切换到拍摄模式。
屏幕看不清	• 使用遮光罩遮挡阳光（第 19 页）。 • 如果屏幕较暗，请利用本装置菜单中的 （背光）功能调整屏幕亮度（第 24 页）。
屏幕上出现黑色条纹	• 本装置上 LCD 屏幕的纵横比为 15:9。因此，视影像而定，有时会出现黑色条纹（第 22 页）。

规格

图像质量

LCD 屏幕	TFT 通常为黑色
图像尺寸	Type 5
视角	90°/90°
有效图像尺寸（宽 × 高）	约 108 mm × 64.8 mm
分辨率	800 × 480像素
纵横比	15:9

输入/输出

输入

HDMI 输入插孔	HDMI (Type A) (1)
DC IN 插孔	DC 7.6 V

输出

内置扬声器输出	约 0.5 W 单声道
耳机输出插孔	ϕ3.5 立体声微型插孔 (1)

一般信息

电源	DC 7.2 V Sony M 系列电池 DC 7.6 V AC-PW10AM
功耗	约 5 W
尺寸（宽/高/长）	约 129 mm × 88.5 mm × 20 mm（不包括突出部位）
质量	约 250 g（仅主机）
操作温度	约 0℃ - 40℃
存放温度	约 -20℃ - +60℃
提供的附件	热靴转换器 (2)、HDMI 电缆 (Type A↔Type C) (1)、遮光罩 (1)、软便携包 (1)、成套印刷文件

可用信号格式

此设备支持以下信号格式。

制式	总线数	有效线数	帧频	扫描	纵横比
575/50I (PAL)	625	575	25	2:1 隔行扫描	16:9/4:3
480/60I (NTSC)	525	483	30	2:1 隔行扫描	16:9/4:3
576/50P	625	576	50	逐行扫描	16:9/4:3
480/60P	525	483	60	逐行扫描	16:9/4:3
640×480/60P	525	480	60	逐行扫描	4:3
1080/50I	1125	1080	25	2:1 隔行扫描	16:9
1080/60I	1125	1080	30	2:1 隔行扫描	16:9
720/50P	750	720	50	逐行扫描	16:9
720/60P	750	720	60	逐行扫描	16:9
1080/50P	1125	1080	50	逐行扫描	16:9
1080/60P	1125	1080	60	逐行扫描	16:9

设计或规格如有变动，恕不另行通知。

商标

- α 是 Sony Corporation 的商标。
- HDMI、HDMI 标识以及 High-Definition Multimedia Interface 都是 HDMI Licensing LLC. 的商标或注册商标。

产品中有毒有害物质或元素的名称及含量

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr (VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
内置线路板	×	○	○	○	○	○
外壳	×	○	○	○	○	○
显示板	×	○	○	○	○	○
附件	×	○	○	○	○	○

○：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T11363-2006标准规定的限量要求以下。

×：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T11363-2006标准规定的限量要求。

索尼公司

出版日期：2011年3月

http://www.sony.net/

4279123040